

非小細胞肺癌切除例におけるリンパ節転移個数に関する研究

1. 研究の対象

2006 年から 2018 年に当院で非小細胞肺癌に対して手術を施行した症例のうち肺葉切除を受けられた高齢者（75 歳以上）。なお、不完全切除例や縮小手術（区域切除や部分切除）症例は除きます。

2. 研究目的・方法

非小細胞肺癌患者に対する縦隔リンパ節廓清の意義は、病巣の完全切除と正確なリンパ節ステージングによる術後補助療法で Benefit を受ける症例を選択することです。しかし、高齢者には術後補助化学療法をしないことが多く、このため縦隔リンパ節廓清の意義は限定的であると推察されます。今回、高齢者の非小細胞肺癌症例に対しての縦隔リンパ節廓清省略の妥当性について検証します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

①基本情報

性別、肺切除時の年齢、腫瘍占拠部位、腫瘍径 CEA 値、臨床病期、合併症

②手術と病理学的診断、術後治療

手術日、術式、完全切除の有無、組織型、術後病理でのリンパ節転移情報、病理病期、ドレーン留置期間、入院期間

③予後情報、再発後治療

再発の有無、初再発確認日、
生死と死因、最終生存確認日 など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 呼吸器外科 馬庭知弘

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

様式第 1-4 (2018. 4. 1 版)

電話：06-6945-1181

研究責任者：

大阪国際がんセンター 呼吸器外科 馬庭知弘

-----以上